



Komori, Y. + Chochinov, H.

# Introduction to Dignity Therapy

緩和ケアチーム通信 No.16 愛知県がんセンター中央病院 2011.6.2

## ディグニティセラピーの入門書ができました。 緩和ケア勉強会で紹介します。 7月7日午後6時、第一第二会議室

小森康永、H・チョチノフ：ディグニティセラピーのすすめ —— 大切な人に手紙を書こう

はじめに／序章

第1部 カナダでのディグニティセラピー

第1章 尊厳と、見る人の眼／第2章 尊厳を守るケア：緩和ケアのための新しいモデル

第3章 ディグニティセラピー：終末期患者に対する新しい精神療法的介入

第2部 日本でのディグニティセラピー

第4章 クリスマンになってよかったなあって感じ：59歳女性、肺がん／第5章 地域での役割をこなすのはB家の役割でした：69歳女性、子宮体がん／第6章 家族は犬猫ひっくるめて：59歳女性、肺がん／第7章 終戦後、広島の地面の上に何もない恐ろしさ：76歳男性、悪性リンパ腫／第8章 きょうだい衆が帰って来たときは、あんばようしてやらないかなあと：63歳女性、悪性リンパ腫／第9章 これが優の知らない私の37年間です：44歳女性、乳がん／第10章 今になってね、どうしてこんなにうるたえるのか：72歳男性、食道がん／第11章 ……あざ：70歳女性、胃がん／第12章 ディグニティセラピー Q&A:小括に代えて／おわりに

金剛出版

\*お聞き逃しの方は、7.16(土)第23回愛知サマーセミナー2011(東海高校)へどうぞ。

余命半年と宣告されたのちに(もしくは、それとなくその時期を察したときに)毎日をどう過ごすか、あるいはあらためて何をするかという問題は、本人にとって悩ましいばかりか、家族をはじめとする周囲の人々にとっても同様に切ない問題です。このような状況において明確な援助を提示したのが、本書で紹介するディグニティセラピーです。日本でのそのはじめての実践と、創始者チョチノフ博士の原著論文を収録する本書は、医療従事者にとっては格好の入門書となり、終末期患者およびその家族にとっては新しい可能性を提示する貴重な読み物となるでしょう。